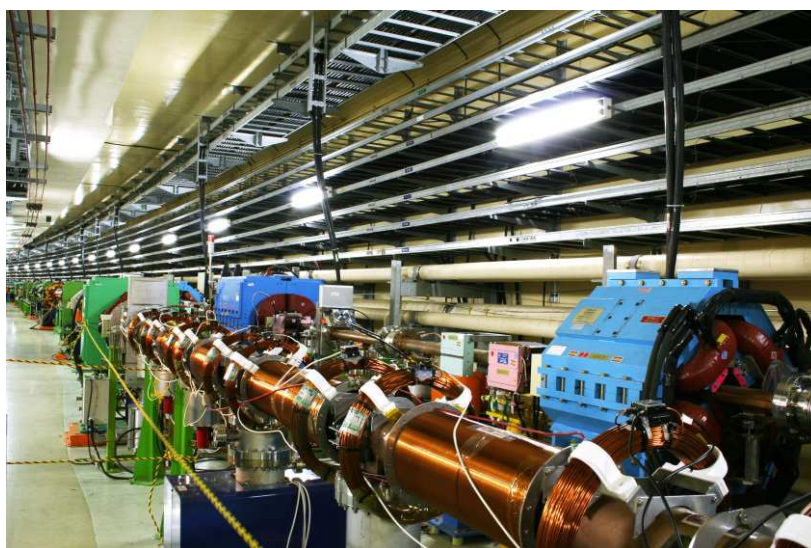


〔設備診断、品質管理〕

高精度で振動測定が可能なレーザドップラ振動計は、設備診断や生産ラインの品質管理にもご利用いただけます。

放射線管理区域(原子力施設、粒子加速器等)や稼働中の動力機械を近距離から測定する場合など、オートフォーカス対応のレーザドップラ振動計を使用することでレーザ光の受光状態を常に最適化し、振動を高S/N比で測定することができます。

粒子加速器施設



稼働中の粒子加速器振動測定

測定システム構成例

オートフォーカス・レーザドップラ振動計
AFV100-S TYPE-D

三脚

FFTアナライザ

〔構造物の健全性評価について〕

高出力パルスレーザとレーザドップラ振動計を組み合わせることで対象部の弾性波伝播速度の変化を測定し、構造物の脆性破壊等健全性を非接触で評価することも可能です。

- オートフォーカス機能により常に最適なS/N比で振動測定が可能
- 人の立ち入りが困難な環境下でも遠隔操作で最適な受光レベルを確保